

# 機器活用による業務や利用者等に関する変化（移乗介助）

○ 施設の管理者等に対する聞き取り調査では、移乗介助機器の活用により、「施設業務・職員の変化」において、「体重の重い利用者の介助に伴う身体的負担が軽減する」、「中腰姿勢の保持に伴う身体的負担が軽減する」等の回答が多い傾向にある。

(施設業務・職員の変化)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

体重の重い利用者の介助に伴う身体的負担が軽減する

中腰姿勢の保持に伴う身体的負担が軽減する

利用者の上下移動が楽になる

利用者の横移動が楽になる

職員複数でなく、一人に対応できるようになる

利用者とのコミュニケーションが増える

職員の気持ちに余裕ができる

機器の準備・後片付け、移動に時間がかかる

移乗介助の動作にかかる時間が増える

機器装着中の動作に制約がある

(N = 9施設)

(利用者の生活の変化)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

表皮剥離、内出血が減る

移乗時の痛みの訴えが減る

安心して移乗介助を受けられるようになる

利用者の身体状況が改善する

随時の排泄介助が増える

利用者の要望に応じた随時対応が増える(排泄以外)

離床時間が増える

表皮剥離、内出血のおそれがある

利用者のADL低下のおそれがある

機器による移乗は人手より不安である

(N = 9施設)